



# 九州工業大学教員の バイオ・ナノ・環境の研究力

バイオマイクロセンシング技術研究センターの本年度の成果報告会を以下のような予定で行います。今回はバイオ・ナノ材料・環境に関する研究についてメンバーの発表を行います。お忙しい中大変恐縮ですが、是非ともご参加を何卒よろしくお願ひ致します。

詳細は、<http://takenaka.che.kyutech.ac.jp/xoops2/>を参照下さい。

**日時：H25年1月29日()14:40-18:50**

**会場：戸畑キャンパス 教育研究8号棟 2F会議室**

竹中繁織 RCBT長挨拶

- 2:40-2:50 細胞内外K<sup>+</sup>の蛍光イメージング試薬の開発  
竹中繁織 (工学部)
- 2:50-3:00 CO<sub>2</sub>の資源化を指向した光触媒ナノ材料の開発  
横野照尚 (工学部)
- 3:00-3:20 高性能化学センシングデバイスのための材料設計  
清水陽一 (工学部)
- 3:20-3:40 表面に分子認識分子層を形成したナノ粒子による核内受容体のリガンド検出  
春山 (生命体)
- 3:40-4:00 多糖類を原料とする電気化学キャパシタ電極用炭素材料の開発  
坪田 (工学部)
- 4:00-4:20 Mn添加ダブルペロブスカイト型酸化物蛍光体の開発  
植田 (工学部)
- 4:20-4:40 特異な酵素反応系を利用した生体成分を対象とした分析手法の開発  
末田慎二 (情報工)
- 4:40-5:00 微小孔アレイデバイスを用いた細胞解析技術の構築  
安田(生命体)
- 5:00-5:20 環状ペプチドの最適合成手法の開発  
加藤(生命体)
- 5:20-5:40 大腸菌の水素生成に有用な遺伝子の網羅的探索と機能追究  
前田(生命体)
- 5:40-6:00 電気化学的テロメラーゼアッセイ (ECTA)法を利用した口腔癌診断  
佐藤しのぶ (工学部)
- 6:00-6:20 グラファイト型窒化炭素を用いた複合型光触媒の反応機構  
村上 (工学部)
- 6:20-6:40 細胞由来リポソームを用いた膜タンパク質ーリガンド相互作用のQCM計測  
山中(生命体)

**連絡先 工学研究院応用化学部門 竹中 繁織(093-884-3322)**